



ぷらねっと ジャーナル

planet journal 令和5年7月 感謝号

令和5年7月1日発行

軌道を描いて つなげる つながる

ぷらねっと扶桑

〒480-0107 扶桑町高木稲葉 63 扶桑町中央公民館内

電話/FAX 0587-75-3082

E-mail planet-fuso@md.ccnw.ne.jp

https://www.planetfuso.com

「令和4年度 ぷらねっと扶桑 通常総会」を開催しました

去る5月20日、「令和4年度 通常総会」を扶桑町中央公民館において通常総会を開催しました。

令和4年度の事業報告・決算報告および令和5年度事業計画・活動予算、当団体の名称変更、さらに新役員の選任について審議が行われ、それぞれ承認可決されました。



■令和5年度新役員■ (50音順)

理事長：早岐 優一	小林 英美
副理事長：小島 雅之	千田 治彦
理事：小塚 由樹	近藤 泰樹
鶴田 尚美	長尾 彰人
監事：遠藤 芳男	谷口美紀生

■ご挨拶■ 理事長 早岐 優一

令和5年度理事長として2年目を務めさせていただきます早岐優一です。どうぞ宜しくお願い致します。

扶桑町はセントレア2つ分程の大きさに35,000人近い人々が暮らす町です。木曾川の自然豊かなこの町を愛する全ての方々がまちづくりに参加する権利が有りますし、協働のまちづくりこそが活気をもたらし、町の未来を切り拓いて行くと思います。ぷらねっと扶桑はその住民活動の受け皿の役目を担っています。例えば一人の町民が自分の庭に町の花ひまわりを植える、それを見て道行く人が声をかける、「綺麗だね！そうだね、来年はみんなでひまわりを咲かそうよ。」これが街づくりの第一歩、人づくりの初めの第一歩です！防災、環境、福祉、子育てなど様々な活動を通してまちづくりに参加したい町民が増えれば町の未来も明るくなって行きます。そんな中、ぷらねっと扶桑は新しく活動に参加したい町民や様々なアイデアを持つ活動団体から頼れる存在にならなければなりません。私自身は微力ですが正会員、賛助会員、現登録団体、町を愛する町民など、皆様のお力をお借りしながらより良い活動を目指したいと思います。



令和4年度 会費納入ありがとうございました (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

正 会 員

多文化共生センター (特非) わっと楽しくスポーツふそう 他 個人正会員16名

賛助会員

アイシン電気	有限会社浅野保温	永光建設株式会社
江口印刷	大藪建設株式会社	小川石油株式会社
からだ元気治療院	有限会社くらち	近藤建設株式会社
有限会社近藤電気商会	有限会社近藤モータース	シオン株式会社
有限会社せんちく地所	ダイエ建築株式会社	大丸センター
有限会社高義自動車	東洋金属株式会社	株式会社社長江電機
株式会社パコント	株式会社ハニダ	ヒューマン・創建
株式会社扶桑クリーン社	株式会社扶桑守口食品	株式会社防災サービスセンター
社会保険労務士法人MASE	マルシン化工株式会社	宮地信男事務所
ムラセ印刷株式会社	株式会社名洲電機	山崎電機株式会社
和田建設株式会社		

他 個人賛助会員42名
(50音順・敬称略)

名称変更のお知らせ

本年6月1日より「扶桑町住民活動支援センター運営機構」から、「ぷらねっと扶桑」に改称いたしました。愛称として親しまれてきた名称に変わる事により、一段と身近に感じていただければと思っております。

★キャッチコピー

軌道を描いて つなげる つながる

‘ぷらねっと’は、太陽のような恒星の周りを公転する惑星の事。扶桑町の活動団体や住民が互いにつながり発展していくために、ぷらねっと扶桑は確かな軌道を描いて皆様をつなげ支援していきます。

★マスコットキャラクター

ぷららんちゃん

扶桑町の花「ひまわり」をイメージしたかわいい女の子。手には星のスティックを持っています。



★ロゴマーク

大きな丸と黄色い星は惑星（ぷらねっと）をイメージしました。丸の中にはひらがなの「ぷ」の文字が隠れており、それぞれの色は扶桑町にちなんだ風物を意味しています。

黄：向日葵
緑：桑の葉
青：木曾川
桃：枝垂桜（桜）
赤：端折傘
橙：守口漬



★情報発信を行っています！

ホームページ <https://www.planetfuso.com>
ぷらねっと扶桑からのお知らせや活動報告、住民活動団体のイベント情報などを配信しています。



公式 LINE
ぷらねっと扶桑のイベント情報や助成金情報を配信しています。



Instagram

現役世代を対象としたでららぶ♡FUSO の活動の様子を中心に掲載しています。



Facebook

住民活動団体のイベント情報や活動報告等を掲載しています。



令和4年度 まちづくり助成金 活動報告

な かじゅうろういちざ 七賀十郎一座

「生の地歌舞伎を多くの方々に披露、一座の若返りを図る」

枝垂れ桜祭で「白波五人男」、南山名区敬老会で「釣女」と「黒田節」、扶桑町制70周年記念事業で「どんどろ大使」を上演。新人や小学生を役者に抜擢し、誰しものが立派に役をこなせる事を確認でき、老若男女幅広く呼び掛ける自信ができました。助成金での小道具の購入により、立派な舞台ができました。



ボランティア団体「笑夢」

「アートで発見！心の宝
～扶桑町木曾川流域の風景を心に刻む取り組み～」

5月に木曾川河川敷で行った「アートで発見！心の宝」をドローンで撮影し、8月のイオン扶桑でのイベントで多くの方にご覧いただき共感を得ることが出来ました。また、SNSで発信することで、木曾川河川敷の自然とその環境保全のために取り組んできた官民の努力を再認識する機会となりました。



「地域をもっと盛り上げ隊」 フレフレソウ 「フルマチアリキ～謎解き&クイズ～」

18～28歳の若者中心のメンバーが、文化の小径を舞台に扶桑町にまつわる謎解きとクイズを開催。ファミリー層を中心に若者や外国人や議員など、43組131人の方が参加。扶桑町役場、地元のお店・会社・施設・住民を巻き込み、今後の活動に繋がるイベントとなりました。



会員の皆様のご支援・ご協力によりまちづくり助成金は成り立っております。重ねて御礼申し上げます。今年度も引き続き令和5年度の賛助会員も募集しております。